

施設名

横浜相原病院

記載年月

2017年 5月



『施設情報』

神奈川県横浜市瀬谷区にある精神科・心療内科・内科を標榜する許可病床数440床、職員数約400名の病院です。

精神科・心療内科の専門病院として、障害や疾患がある人、また無い人も皆が安心して暮らせる地域社会を目指してします。

精神一般病棟・精神療養病棟・特殊疾患病棟を有し、精神疾患のみでなく身体合併症や高齢者の問題にも幅広く対応しているいます。

当院は診療・教育・研究の三本柱を謳い、研修医や看護師・作業療法士・精神保健福祉士・薬剤師などの教育実習生を受け入れ教育分野でも貢献し、さらに院内の勉強会だけでなく、各種学会への参加・発表など研究活動も積極的に行っています。

「名病院より良病院」を目指し、愛し愛される心を持って、医師・看護師だけでなく社会保険福祉士・リハビリ・心理士・検査技師も含め様々な職種が一体となってチーム医療を展開し、地域社会に開かれた精神医療を実施している病院です。

住所：横浜市瀬谷区阿久和南2-3-12

『職員構成と業務内容概要』

生化学・血算・血液ガス・尿一般検査などの検体検査、心電図・脳波・超音波・睡眠に関する検査などの生理学的検査、これらの幅広い領域を院内で実施しています。

職員は3名で臨床検査技師資格を持ち、その他の専門認定として「超音波検査士」、臨床神経生理学会の「脳波専門技術士」、「緊急検査士」、「臨床病理技術士：循環生理学」の取得者もいます。

検査科内の業務だけでなく「院内感染対策委員会」、「感染制御チーム」、「褥瘡対策委員会」の一員としても活動して院内で重要な立場になっています。

AMGグループでの勉強会の実施、検査部各委員会の病院訪問による指導、その他色々な交流があります。分からない事などがあれば専門分野の人への相談も容易で、レベルの向上が出来る仕組みになっています。

所有機器：自動分析装置：日立LABOSPECT003 血球計数装置：シスメックスXP300 超音波診断装置：HITACHI ARIETTA 60など

『取り組み内容』

精神障害への偏見、精神科病院はマイナー、精神疾患患者はコワイ！など思っている方は少なからずいるでしょう。

統合失調症・うつ病・不安障害・依存症・認知症など精神疾患により医療機関を受診する人は約320万人、有病率は8%と言われます、しかし未受診者も多く精神疾患は決して稀な病気ではありません。自殺して亡くられる方は約3万人近く、自殺未遂者はその10倍とも言われ、国や地域での取り組みもされています。引きこもりや虐待なども問題になる時もあります。精神疾患は脳(こころ)の病気での疾患と同じように早期に発見し、適切な治療また予防(メンタルヘルス)を実施すればもっと亡くなる方は少なくなるし、社会生活への支障も少なくなります。

こころの苦痛が身体苦痛の様に現れる、精神症状の為に身体管理が出来ず健康状態が悪化する、精神疾患の方は自身の身体状態を認識出来ない場合もあります、精神疾患だけでなく内科や外科の疾患を合併する場合もあり、精神科における検査のデータは重要です。治療の為に血液中の最適な薬の濃度が必要で、定期的な測定を行います、肝機能や腎機能、心臓の状態を調べる事で患者さんはより良い生活を送る事が出来ます。精神科だからこそ客観的に身体状態を把握できる臨床検査は大切であり必要です。

「信頼性のある臨床検査の提供」を検査科の基本方針として、その為に知識・技術を向上させ。「患者尊重」の患者第一主義の理念で、私達は日々業務に取り組んでいます。